



江戸期の絵巻物「芦北之図」など近世から現代までの日本画が並ぶコレクション展＝熊本市中央区

近世く現代の日本画展示

熊本市 肥後の里山ギャラリー

肥後銀行の所蔵品を中心とする近世く現代の日本画コレクション展が、熊本市中央区練兵町の肥後の里山ギャラリーで開かれている。31日まで。肥後銀行、肥後の水とみどりの愛護基金主催。

近世の図巻や横山大観の作品など8点を展示。長さ約14メートルの「芦北之図」は細川家の御用絵師・衛藤良行の作とみられ、日奈久から佐敷にかけての海岸や峠からの眺望が描かれている。日本画家で崇

城大芸術学部長の中村賢次氏が手掛けた大作3部作は、阿蘇の噴煙がモチーフ。うごめく大地の威力が伝わる。同ギャラリーは開館5周年。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度に予定していた企画展や講演会などを取りやめ、代わりに所蔵品展を開いた。（魚住有佳）